

# オーディオファイル や 映像ファイル への 書き出し方

( Logic Express 9 の場合 )

## ■ オーディオデータ (のみ) の書き出し方

1. 書き出す範囲を指定する (リピート範囲の指定と同じ) ※後部を少し長めに指定する。
2. ファイルメニュー > バウンス を選ぶ 「バウンスの画面」が表示される。
3. バウンスの画面で「書き出した時のファイル名」と、「書き出す場所」を指定する。
4. バウンスの画面で、書き出すオーディオファイルの質を以下のように設定
  - ・用途 : 「PCM」のみにチェック
  - ・モード : 「オフライン」にする。「リアルタイム」だと書き出しするのに曲長と同じ時間がかかる。
  - ・ノーマライズ : オン
  - ・ファイルフォーマット : Wave (非圧縮音声ファイルフォーマット) ※ aiff でも可能
  - ・分解能 : 16ビット (通常「量子化ビット数」といい、デジタル化の際の音量認識の精度を示す)
  - ・サンプルレート : 44100 (デジタル化の際の波形認識の精度を示す。44100回/1秒で認識)
  - ・ファイルタイプ : インターリーブ (L. R. の2チャンネルを含む1個のファイルの意味)

(「バウンスボタン」を押して、オーディオファイルの書き出し完了)

## ■ QuickTime ムービーとしての書き出し方 (自作音楽付き動画ファイルの書き出し方)

1. 書き出す範囲を指定する (リピート範囲の指定と同じ) ※後部を少し長めに指定する。
2. ファイルメニュー > 「オーディオをムービーに書き出す」を選ぶ 「サウンド設定」画面が表示される。
3. サウンド設定画面で、動画に付加して書き出すサウンドの質を以下のように設定
  - ・フォーマット : AAC (エーエーシー、Advanced Audio Coding、MPEG4 でのオーディオ書き出し)
  - ・チャンネル : ステレオ LR
  - ・レート : 44100 (サンプルレートのこと)

(「OK」を押して、「ファイル名」と「書き出し場所」を指定した後、書き出し完了)